

タイトル『真夏の方程式』

著者：東野圭吾

出版社：文春文庫

この本は、真夏の方程式というタイトルでありタイトル通り季節が夏の時の物語でもありさらにページをめくればめくるほど方程式ができてあがっていき最終冬白々に犯人が分かるとてもおもしろい本です。

この本を読んでいる途中でだんだん犯人があがってきてこの人が犯人だと思っていたら実はちがう人が犯人だと分かりおどろかされるのもこの作品のおもしろいところですね。

最後にこの本は映画化しているのでそれも見てください。

投稿日 令和2年 11月 11日

ペンネーム (本名は書かないでね！)

いさじ

年齢

13歳

仙台市 市民 図書館 YAコーナ